



大杉東小だより

令和8年10月30日 NO. 7

江戸川区立大杉東小学校 副校長 高橋あすか

異学年交流

本校では、異なる学年と一緒に活動する機会を大切にしています。異学年交流は、上級生にとっても下級生にとっても教育的効果が高い活動です。

【上級生への効果】

- ・責任感やリーダーシップが育つ。
- ・教えることを通して、自分の知識や技能を再確認できる。
- ・人の役に立つ喜びを感じ、自分のよさに気づく。
- ・感謝される経験から自己有用感が高まる。

【下級生への効果】

- ・上級生の行動を手本にできる。
- ・上級生への憧れをもち、成長への意欲が高まる。
- ・上級生に認められ、自信をもって活動する。
- ・学校生活への安心感をもつ。

【上級生にも下級生にも共通する効果】

- ・年齢や考え方の違いを理解し、相手に応じた関わり方を身に付ける。
- ・学級や学年を越えた人間関係が広がり、困ったときに相談できる相手が増える。
- ・互いの違いを認め、助け合うことで、学校の一員としての所属意識が高まる。

10月は、異学年交流の活動がたくさんありましたので、ご紹介します。

【10/6 竹馬週間】

- ・6月に6年生と1年生で班を作り、6年生が1年生の竹馬作りをしました。10月から、11/7の竹馬運動会に向けての練習が本格的に始まりました。休み時間は、下級生が上級生の技を見て真似をしたり、上級生が下級生の補助をしてあげたり、日常的に交流をしています。

【10/7 なかよし班遊び】

- ・4月に1年生から6年生でなかよし班を編成し、毎月、中休みに30分間、なかよし班で遊んでいます。6月は時間を2時間に拡大し、近隣の公園に遊びに行きました。6年生が、どの学年の子も楽しめるような遊びを企画し、個々に応じた声をかけながら班をまとめています。

【10/14・28 クラブ活動】

- ・クラブは、4年生から6年生で構成されていて、通年の活動です。一緒に話し合ったり、運動したり、実験したり、6年生がリーダーシップをとって活動を楽しんでいます。

【10/19 就学時健康診断】

- ・来年度入学する1年生の健康診断がありました。入学してしばらくは6年生との関わりが多いので、来年度の6年生(現5年生)が手伝いをしました。5年生が優しく声をかけ、案内する姿に、安心感をもってもらえたのではないのでしょうか。入学を心待ちにしています。

【10/25 一之江ふるさとまつり】

- ・金管バンド部が、一之江ふるさとまつりのパレードに参加し、素敵な演奏を披露しました。3年生から6年生が在籍し、休み時間に練習を重ねてきました。自主的に集まり、個人で練習をしたり音を合わせたり、良い演奏に向けて協力し合っていました。